

諮問事項に関する説明資料

1 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について

(1) 「掛川市公共施設等総合管理計画（H28年3月策定）」の概要

- ①人口の将来目標：H27) 117,681人 → H52) 120,000人
- ②計画期間：H28(2016)年度からH57(2045)年度までの30年間
- ③計画の対象施設：床面積200㎡以上の建物及びインフラ施設
【建物】H27.4.1現在：212施設、369,154㎡
- ④施設用途別保有状況：学校・教育施設44.5%、住宅施設10.2%
スポーツ・レクリエーション施設9.4%

⑤計画の目的

「公共施設等の安心・安全を確保するとともに、公共施設等によるサービスを最適かつ持続可能なものとする。」

⑥解決すべき3つの課題

- ・施設需要の変化に応じた質と量の最適化
- ・事後保全から予防保全への転換と長寿命化
- ・財政負担の軽減と平準化

(2) 掛川市における公共施設マネジメントの基本的な考え方

①保有総量の適正化

- ・施設や行政サービスの必要性を検討する。
- ・施設保有総量を圧縮する。
- ・機能に基づき施設を適正に配置する。
- ・近隣自治体施設の相互利用など広域連携の可能性を検討する。

②長寿命化と安全確保

- ・長寿命化を図るための予防保全による施設・設備の維持管理を行う。
- ・安全の確保と耐震化を図る。

※例) 橋りょう長寿命化計画の推進、学校耐震補強など

③運営管理の適正化

- ・施設管理経費の縮減と収入の確保
- ・官民協働による施設運営管理の実現

※例) 掛川城周辺施設及び大東温泉シートピアの経営改革など

(3) 公共施設マネジメントに関連して市が進めようとしている取り組み

- ①「中学校区学園化構想」に基づく小中学校一貫教育の推進と学校施設の適正規模・適正配置の検討。
- ②「子ども・子育て支援計画」に基づく大東・大須賀区域の公立幼稚園及び私立保育園の再編整備の検討。
- ③「本計画」に基づくその他の施設の再編整備とモデル事業の検討。

「解決すべき3つの課題」を解決し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を進めるための手段や、公共施設のあるべき姿などについて審議会からご意見をいただきたい。

2 人口減少社会における行政経営のあり方について

少子高齢・人口減少社会において、市民主体による協働のまちづくりを進めるために最適な行政経営のしくみを確立する。

なお、平成28年3月16日に提出された第3期行革審からの答申書において示された今後の行革の方向性と問題点については、以下のとおりである。

今回の諮問事項はこれらを踏まえた内容としている。

市行革が進むべき方向性

- (1) 削減と増収の両輪による財政健全化
- (2) 職員の改革マインドによる日常的な見直し効果の検証
- (3) 適正な事業見直しと行財政の構造改革の推進



問題提起

- ア 公共施設の総合管理と指定管理者制度の運用見直し
- イ 受益者負担の考え方、高齢者への優遇の見直し
- ウ 市業務のアウトソーシング及び人事管理等仕組みの見直し
- エ 外郭団体等の見直し